

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京医療保健大学
設置者名	学校法人 青葉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
医療保健学部	看護学科	夜・通信		16	80	96	13	
	医療栄養学科	夜・通信		12	49	61	13	
	医療情報学科	夜・通信		10	67	77	13	
東が丘・立川看護学部	看護学科	夜・通信		2	152	154	13	
千葉看護学部	看護学科	夜・通信		3	36	39	13	
和歌山看護学部	看護学科	夜・通信		4	37	41	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>・URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nutrition/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nutrition/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/healthinfo/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/healthinfo/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/higashigaoka/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/higashigaoka/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/chiba/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/chiba/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/wakayama/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/wakayama/nursing/syllabus.html</a></li> <li>・また、学部によっては印刷物「履修案内 2019 入学生用」当該年度入学生全員に配付</li> </ul>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京医療保健大学
設置者名	学校法人 青葉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤（学外）	学校法人 理事長	H28. 4. 1 ～R2. 3. 31	組織運営体制へのチェック 機能
非常勤（学外）	病院長	H30. 11. 5 ～R4. 11. 4	教育活動へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京医療保健大学
設置者名	学校法人 青葉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成過程と時期は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科目担当教員に作成を依頼する。(前年度10月～11月) (依頼時には必要項目を記載したフォーマットと記入見本を添付している。)</li> <li>2. 提出されたシラバス原稿を、当該授業を担当しない教員(医療保健学部：学科長と教務委員、和歌山看護学部：教務委員)が確認し、確認を要する箇所にコメントをつける。(前年度12月～1月)</li> <li>3. そのコメントを教務委員が確認後、担当教員に校正を依頼する。(前年度1月～2月)</li> <li>4. 校正等については、教務委員(会)(東が丘・立川看護学部：カリキュラム検討委員)を中心に教職員で最終的な確認を行い確定する。(前年度2月～3月)</li> </ol> <p>授業計画の公表時期と方法については、学生には入学時に4年分の最新版のシラバスを冊子で配布している。また、毎年4月には大学ホームページにおいて最新のシラバスを一般に公表しており、PDF形式で随時閲覧できる。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>URL:</p> <p><a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nutrition/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nutrition/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/healthinfo/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/healthinfo/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/higashigaoka/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/higashigaoka/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/chiba/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/chiba/nursing/syllabus.html</a>  <a href="http://www.thcu.ac.jp/faculty/wakayama/nursing/syllabus.html">http://www.thcu.ac.jp/faculty/wakayama/nursing/syllabus.html</a></p> <p>東京医療保健大学医療保健学部看護学科履修案内に掲載                  東京医療保健大学医療保健学部医療栄養学科履修案内に掲載                  東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科履修案内に掲載                  東京医療保健大学東が丘・立川看護学部履修案内に掲載                  東京医療保健大学千葉看護学部看護学科履修案内に掲載                  東京医療保健大学和歌山看護学部履修案内に掲載</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の学習成果の評価において、単位認定の方法（複数の方法による場合はその割合も含む）については、授業案内（シラバス）に明記するとともに、また、教務ガイダンスや初回授業において口頭で学生に説明することとしている。</p> <p>単位認定にあたっては、学生に授業の3分の2以上の出席を要件とし、単位認定に係る学修評価は、筆記試験、レポート提出、実技、平素の成績等によって行うものとしており、客観的に評価を行っている。</p> <p>評価はS（100点～90点）、A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）、D（60点未満）とし、C以上を合格として単位を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績の総合的かつ客観的な指標として、fGPAを各セメスターで算出、分布のグラフを示した補助資料として、個別科目の成績、単位取得状況の一覧とともに、学生の保証人に送付している（2020年度からはWEB上で学生自身が確認できるシステムを導入予定）。</p> <p>fGPAの算出方法は、まず設定期間において履修した各科目の成績の素点(0～100点)から55点を引き10で除したものをfGPとして算出、次にこのfGPに各科目の単位数をかけ、履修登録した全科目の総和を、履修登録した科目（不合格を含む）の総単位数で除し算出する。</p> <p>この時、出席不足で単位認定の資格が得られなかった科目や試験で不合格となった科目のfGPは0として算出する。</p> <p>※別添「平成30年度客観的な指標に基づく成績分布」参照</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a></p> <p>東京医療保健大学医療保健学部看護学科履修案内に掲載</p> <p>東京医療保健大学医療保健学部医療栄養学科履修案内に掲載</p> <p>東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科履修案内に掲載</p> <p>東京医療保健大学東が丘・立川看護学部履修案内に掲載</p> <p>東京医療保健大学千葉看護学部看護学科履修案内に掲載</p> <p>東京医療保健大学和歌山看護学部履修案内に掲載</p>

#### 4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

##### 【医療保健学部】

###### ○看護学科

以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。
2. 人間と社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識と技術をもって看護を実践できる能力。
3. 看護の対象となる人々や他職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。
4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。
5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 113 単位（「いのち・人間の教育」12 単位、「医療のコラボレーション教育」18 単位、「専門職の教育」83 単位）、選択 13 単位以上、合計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

###### ○医療栄養学科

本学の建学の精神に基づき、医療に関わる知識と技術を身に付け、人々の健康をプロデュースする食と栄養管理の専門家としてのチーム医療に貢献できる管理栄養士を目指す上で、必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療栄養学)の学位を授与します。

1. 管理栄養士の行動特性を身に付け、人々の豊かな食生活と健康に寄与する基本的な能力。
2. 食に関する情報を収集し、疾病の一次、二次予防の担い手としての知識を修得し、食生活改善のための計画・実行・評価を実践できる能力。
3. 管理栄養士として必要な疾病に関する知識、技術をもって実践できる能力。
4. 管理栄養士として栄養指導の対象者等との適切なコミュニケーションをとれる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 114 単位（「いのち・人間の教育分野」14 単位、「医療のコラボレーションの教育分野」20 単位、「専門科目」80 単位）、選択 12 単位以上（専門科目から 7 単位以上）、合計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

###### ○医療情報学科

以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療情報学)の学位を授与します。

1. 医療情報の分析とマネジメントで必要となる、医療制度や診療情報に関する基礎的な知識と手法を持って実践できる能力。
2. 医療分野のシステムや機器の開発・管理・運用に必要となる、ICT(情報通信技術)の基礎的な知識と技術を持って医療分野へ適用するための実践できる能力。
3. 医療人として他の専門職と協調して物事を進めるためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。
4. 国内外の科学技術の進歩と専門性への探究心を持ち、自ら目標を設定して、主体的に取り組む態度を身に付け実践できる能力。
5. 医療職として高い倫理観や態度を身に付け、社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ることが出来る能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 106 単位（「いのち・人間の教育分野」12 単位、「医療のコラボレーションの教育分野」20 単位、「専門職の教育分野」74 単位（択一選択科目 4 単位を含む。)), 3 分野から選択 20 単位以上、合計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

### 【東が丘・立川看護学部】

看護学を理解し、21世紀の高度医療に対応できるtomorrow's Nurseを目指す上で必要とされる以下に示す全ての能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践できる能力。
2. 看護学の基盤となる人間に関連した基礎科学および看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・総合的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力。
3. 看護の対象者や医療従事者等との適切なコミュニケーションを取りながら看護を実践できる能力。
4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護学の発展に創造的に関わることができる能力。
5. 国際的な視野の下で、看護学の専門性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 123 単位（「基礎分野」16 単位、「専門基礎分野」30 単位、「専門分野」54 単位、「統合分野」23 単位）、選択必修 6 単位以上（基礎分野 3 単位以上、専門基礎分野 1 単位以上、統合分野 2 単位以上）合計 129 単位以上となっている。卒業判定はカリキュラム委員会を経て、教授会で承認を得ている。

### 【千葉看護学部】

地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。
2. 人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。
3. 看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。
4. 看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。
5. グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 115 単位（「いのち・人間の教育」15 単位、「専門職の教育」100 単位）、選択 11 単位以上、合計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

### 【和歌山看護学部】

以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。
2. 人間と社会に対する幅広い知識と地域社会における人々の生活と健康の観点から医療・看護に関する専門知識と技術を持って看護を実践できる能力。
3. 看護の対象となる人々や多職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。
4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。
5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 113 単位（「豊かな人間性を育む分野」14 単位、「看護の基盤をつくる分野」33 単位、「看護実践能力を高める分野」66 単位）、選択 13 単位以上、合計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京医療保健大学
設置者名	学校法人 青葉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/post/">http://www.thcu.ac.jp/about/post/</a>
収支計算書又は損益計算書	URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/post/">http://www.thcu.ac.jp/about/post/</a>
財産目録	URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/post/">http://www.thcu.ac.jp/about/post/</a>
事業報告書	URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/post/">http://www.thcu.ac.jp/about/post/</a>
監事による監査報告(書)	URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/post/">http://www.thcu.ac.jp/about/post/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法: _____
中長期計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法: _____

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/jikotenken/>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/nintei.html>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 医療保健学部
教育研究上の目的 (公表方法: URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a> )
<p>(概要)</p> <p>医療保健学部においては、「ますます高度化する医療保健活動に対応し、グローバルな視点で活動できる高度な知識・技術を持った専門職の育成」「医療保健活動のチーム化を踏まえ、他の専門職と協働して医療保健活動を遂行できる人材の育成」「医療保健活動の原点とも言うべき「現場」に興味を持ち「現場」を愛する専門職の育成」を図るとともに、「教育研究成果のエッセンスを相互に提供し合うことで幅広い視野を持った専門職及びチーム医療人として協調・協力が出来る人材の育成」を図ることを理念・目的としています。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法: URL: <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a> )
<p>(概要)</p> <p>○看護学科</p> <p>以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。</li> <li>2. 人間と社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識と技術をもって看護を実践できる能力。</li> <li>3. 看護の対象となる人々や他職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。</li> <li>4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。</li> <li>5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。</li> </ol> <p>○医療栄養学科</p> <p>本学の建学の精神に基づき、医療に関わる知識と技術を身に付け、人々の健康をプロデュースする食と栄養管理の専門家としてのチーム医療に貢献できる管理栄養士を目指す上で、必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療栄養学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理栄養士の行動特性を身に付け、人々の豊かな食生活と健康に寄与する基本的な能力。</li> <li>2. 食に関する情報を収集し、疾病の一次、二次予防の担い手としての知識を修得し、食生活改善のための計画・実行・評価を実践できる能力。</li> <li>3. 管理栄養士として必要な疾病に関する知識、技術をもって実践できる能力。</li> <li>4. 管理栄養士として栄養指導の対象者等との適切なコミュニケーションをとれる能力。</li> </ol> <p>○医療情報学科</p> <p>以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療情報学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療情報の分析とマネジメントで必要となる、医療制度や診療情報に関する基礎的な知識と手法を持って実践できる能力。</li> <li>2. 医療分野のシステムや機器の開発・管理・運用に必要となる、ICT(情報通信技術)の基礎的な知識と技術を持って医療分野へ適用するための実践できる能力。</li> <li>3. 医療人として他の専門職と協調して物事を進めるためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。</li> <li>4. 国内外の科学技術の進歩と専門性への探究心を持ち、自ら目標を設定して、主体的に取り組む態度を身に付け実践できる能力。</li> <li>5. 医療職として高い倫理観や態度を身に付け、社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ることが出来る能力。</li> </ol>

## 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

#### ○看護学科

1. 優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。
2. 豊かな教養と人間性を涵養するために看護専門職である前に、一人の人間として「生命への畏敬、思いやり、人の絆、愛」を持って行動する姿勢を涵養します。
3. 専門職としての高い倫理教育を行うとともに、教育課程全般の修学にわたり、社会の規範やルールを尊重する姿勢を涵養します。
4. 専門的な知識・技術を修得し、看護専門職として、社会の期待に応えるために専門知識及びその関連知識を順序性、体系性を持って修得できるよう教育課程を編成し、提供します。
5. 国際化・情報化した現代社会で、看護専門職として対応できるよう教育課程を編成し、提供します。
6. 語学力やコミュニケーション技術を修得して、他職種や看護の対象となる人々と連携・協働しながら課題解決に取り組める高い看護実践力を涵養します。
7. 看護専門領域での課題に関して、社会の要求を踏まえた課題解決を実践できる教育の機会を提供します。

#### ○医療栄養学科

1. 優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。
2. 人間性豊かな、教養ある管理栄養士の養成のために、「いのち・人間の教育分野」の中に、「いのち・人間」、「社会科学」、「自然科学」、「外国語」、「情報科学」を配置し、「思いやり」、「人の絆」、「愛」の心を涵養します。
3. 社会的規範やルールを尊重する姿勢を涵養します。
4. 専門教育科目は、管理栄養士学校指定規則に定められたカリキュラムに準拠し、さらに医療分野に特化した栄養学も修学できるような教育課程を提供します。
5. 主体的な研究態度や技能を修得するために、卒業研究、栄養教諭免許、食品衛生管理者・監視員、フードスペシャリストなどの資格取得に必要な科目をカリキュラムの中で編成します。
6. 専門職としての管理栄養士実践力を有し、他職種との協働で問題の解決に取り組むために必要な知識とスキルを身に付けた管理栄養士を育成します。
7. 専門職としてのコミュニケーション能力、語学力を涵養し、自ら考え、行動し、社会に貢献できる管理栄養士を育成します。

#### ○医療情報学科

1. 優れたチーム医療人の育成を図るため、「いのち・人間の教育分野」、「医療のコラボレーション分野」及び「専門職の教育分野」に関する科目を開設します。
2. 医療人として必要な倫理観や態度を身に付け、社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ることができる教育課程を編成し、提供します。
3. チーム医療に必須のコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を高め、他と協調して物事を達成する教育課程を編成し、提供します。
4. 医療情報の分析とマネジメントに必要な、医学・医療の知識と技術を体系的に修得する教育課程を編成し、提供します。
5. 医療分野のシステム開発・管理・運用に必要な、ICT(情報通信技術)の知識と技術を体系的に修得する教育課程を編成し、提供します。
6. 専門性への探究心を持ち、自ら目標を設定して何事にも主体的に学修に取り組むことができる教育課程を編成し、提供します。
7. 国内外の科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に対応した学修の機会を提供します。

## 入学者の受入れに関する方針

(公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

薦入試、大学入試センター試験利用入試などの実施により多様な入学者選抜を行います。本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般入試の他に、AO方式による入試、推これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、小論文、総合問題、基礎テスト、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

また、各学部・学科において、各入試における評価内容等を別途定めています。

## 学部等名 東が丘・立川看護学部

教育研究上の目的 (公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

東が丘・立川看護学部においては、「変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、臨床判断し、確かな看護の実践能力をもって発展的に未来の看護を創造しうる看護職の育成」を図るとともに「臨床に強い高度医療に対応した、高度な看護実践能力を身につけた看護職の育成」「自分で考え、判断し、行動できる自律した看護職の養成」及び「医療現場でチーム医療の中心的存在となり、コーディネーター役を果たせる看護職の育成」を図ることを理念・目的としています。

卒業の認定に関する方針 (公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

看護・看護学を理解し、21世紀の高度医療に対応できるtomorrow's Nsを目指す上で必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践できる能力。
2. 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・相互的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力。
3. 看護の対象者や医療従事者等との適切なコミュニケーションを取りながら看護を実践できる能力。
4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に係わることができる能力。
5. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる能力。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法 : URL : <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

1. 高度な看護が実践できるために『看護実践能力』、『段階的判断能力』及び『柔軟な創造力』の3つの能力を育成します。
  - ・『看護実践能力』とは、社会人としての一般的な教養を備えた上で、確かな専門知識をもとに安全で安楽な看護技術を提供できることと、これに加えて、関係する患者・家族及び多職種と協働するためのコミュニケーション能力をもとにチーム医療を推進する能力です。
  - ・『段階的判断能力』は、起きている複雑な現象を多角的にとらえ、専門知識をもとにタイムリーな論理的決定を繰り返し、積み上げる能力のことです。また、この中には倫理的な判断が必須です。
  - ・『柔軟な創造力』とは、正解のない現代医療・介護の現場で、サービスを利用する人びとにとってよりよいケアと環境とを創造し提案する能力です。これには、現状分析力と総合判断力及び人々に真摯に向き合う姿勢が必要です。
2. カリキュラムの特色としては、基礎的な幅広い知識・教養を身につけるとともに論理力と統合力を強化する科目を設定しています。
  - ・いのち・人間の教育分野として専門職の教育分野の基盤となる論理力の向上をねらう科目と、社会の中の多様性を理解するための科目、コミュニケーション力の向上をねらう科目を複数設定しました。
  - ・専門職の教育分野では基本的な専門科目に加えて、社会の流れを敏感に察知するための科目や倫理的感受性を高める科目、及び論理力と統合力を高める科目を設定しています。
  - ・また、自身のキャリア及び組織について考える能力の基盤となる科目も複数設定し、学んだ知識を元に、卒業後も自己研鑽し続けることの必要性についての自覚を促します。

## 入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : URL : <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般入試の他に、AO方式による入試、推薦入試、大学入試センター試験利用入試などの実施により多様な入学者選抜を行います。

これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、小論文、総合問題、基礎テスト、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

また、各学部・学科において、各入試における評価内容等を別途定めています。

学部等名 千葉看護学部
教育研究上の目的（公表方法：URL： <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>千葉看護学部には看護学科を設置し、「確かな情報収集力と倫理観をもとに創造力を伸長」し、「高度な看護アセスメント能力と看護技術を持ちながら自己研鑽し続ける」ことができ、「地域で暮らす人々の生活を見ずえた看護ケアを提供しうる看護職」の育成を図る。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：URL： <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。</li> <li>2. 人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。</li> <li>3. 看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。</li> <li>4. 看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。</li> <li>5. グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。</li> </ol>
教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：URL： <a href="http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/">http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>千葉看護学部において育成する能力及びカリキュラムの特色</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学部では、高度な看護が実践できるために『看護実践能力』、『段階的判断能力』及び『柔軟な創造力』の3つの能力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・『看護実践能力』は、社会人としての一般的な教養を備えた上で、確かな専門知識をもとに安全で安楽な看護技術を提供できることに加え、関係する患者・家族および多職種と協働するためのコミュニケーション能力をもとにチーム医療を推進する能力である。</li> <li>・『段階的判断能力』は、起きている複雑な現象を多角的にとらえ、専門知識をもとにタイムリーな論理的決定を繰り返し、積み上げる能力のことで、その中には倫理的な判断は必須である。</li> <li>・『柔軟な創造力』とは、正解のない現代医療・介護の現場で、対象にとってよりよい環境を提案できる現状分析力と総合判断力および対象に真摯に向き合う姿勢が重要である。</li> </ul> </li> <li>2. カリキュラムの特色としては、基礎的な幅広い知識・教養を身につけるとともに論理力と統合力を強化する科目を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いのち・人間の教育分野として専門職の教育の基盤となる論理性の向上をねらう科目と社会の中の多様性を理解するための科目、コミュニケーション力の向上をねらう科目を複数設定した。</li> <li>・専門職の教育では基本的な専門科目に加えて、社会の流れを敏感に察知するための科目や倫理的感受性を高める科目、および論理力と統合力を高める科目を設定した。</li> <li>・また、自身のキャリアおよび組織について考える基盤となる科目も複数設定し、学んだ知識を元に、卒業後も自己研鑽し続けることの必要性についての自覚を促す。</li> </ul> </li> </ol>

## 入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

これらの大学の方針に基づいて、

- ①地域連携に積極的に参画できるよう、応用力と柔軟性を強化し、あらゆる人の生活をより充実したものにするためにサポートする能力を培うことを志向する人を求めています。
- ②他者への興味・関心をつねにもち続け、相手の話を聴いて、その人の願いを実現するために自分にできることを探そうとする姿勢が求められます。
- ③ボランティアや部活、課外活動など、生活者としてのさまざまな体験が、さまざまな世代と立場の人との関わりの際に役に立ちます。
- ④しかし日常でも、出会う人や何気ない景色やニュースから、人びとの幸せとは何か、「未来」を生み出す「今」を考え、自分なりの意見を持つことができます。そのためには広い視野で、かつ深く、見つめようとする意志を持つ人材を求めます。

## 学部等名 和歌山看護学部

教育研究上の目的 (公表方法 : URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

「ますます高度化する医療保健活動に対応し、グローバルな視点で活動できる高度な知識・技術を持った専門職の育成」「医療保健活動のチーム化を踏まえ、他の専門職と協働して医療保健活動を遂行できる人材の育成」「医療保健活動の原点とも言うべき「現場」に興味を持ち「現場」を愛する専門職の育成」を図るとともに、「教育研究成果のエッセンスを相互に提供し合うことで幅広い視野を持った専門職及びチーム医療人として協調・協力が出来る人材の育成」を図ることを理念・目的としています。

卒業の認定に関する方針 (公表方法 : URL: <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

和歌山看護学部では、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を实践できる能力。
2. 人間と社会に対する幅広い知識と地域社会における人々の生活と健康の観点から医療・看護に関する専門知識と技術を持って看護を实践できる能力。
3. 看護の対象となる人々や多職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。
4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。
5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法 : URL : <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

1. 本学科では、看護の対象である人間とその生命を尊重できる倫理観を持ち、豊かな人間性と確かな看護実践能力を育成することをカリキュラムの主軸とします。
2. 「豊かな人間性を育む分野」、「看護の基盤をつくる分野」、「看護実践能力を高める分野」の3分野でカリキュラムを構成し、『看護実践能力』『課題対応力』及び『自己教育力』の3つの能力を育成します。
3. 人間や生命・生活・地域・社会・文化等の幅広い知識を習得し、豊かな人間性と教養を身に付けます。
4. 高度な判断と実践の基礎となる看護学の知識・技術を修得し、あらゆる場や状況において、対象の健康課題を捉え解決できる看護実践能力を涵養します。
5. 専門的な知識・技術を順序性、体系性を持って修得できるよう教育課程を編成し、提供します。
6. 時代や社会が求めているものを見据え、質の高い看護を創造し続けられるよう自己教育力を涵養します。
7. 国際化・情報化が進むグローバルな社会で貢献できるよう、幅広い視野や語学力やコミュニケーション技術を修得できる教育課程を提供します。
8. 多職種や看護の対象となる人々・その家族と関係を築き、連携・協働するための基礎的能力を涵養します。

## 入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : URL : <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>)

### (概要)

東京医療保健大学は、医療の現場に強く、豊かな国際感覚を備え、医療の情報化に対応し、他の専門職と協働してチーム医療を実現できる人材を育成いたしますが、入学者には次のような資質が求められます。

1. 寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を有すること。
2. 基礎学力と豊かな教養の上に、専門性への探究心を有すること。
3. 自ら課題を設定し、調べ、考えて問題解決を図ろうとすること。
4. 何事にも積極的に取り組むことができること。
5. コミュニケーション能力・表現力が豊かで、他と協調して物事を達成できること。
6. 社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ようとする事。
7. 科学技術の進歩に関心を持ち、医療の情報化・国際化に意欲を持って取り組むこと。

本学では、以上のような資質を有する学生を選抜するために、一般入試の他に、AO方式による入試、推薦入試、大学入試センター試験利用入試などの実施により多様な入学者選抜を行います。

これらの入学者選抜においては、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・多様性・協働性」という「確かな学力」を把握するとともに、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性等を判断するため、試験種別ごとに個別学力検査、大学入試センター試験、調査書、小論文、総合問題、基礎テスト、面接などを組み合わせ、多面的・総合的に評価を行います。

また、各学部・学科において、各入試における評価内容等を別途定めています。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : URL : <http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/pdf/3/hensei.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	8人	—					人
医療保健学部	—	26人	17人	24人	15人	12人	94人
東が丘・立川看護学部	—	13人	13人	15人	20人	10人	71人
千葉看護学部	—	6人	6人	9人	4人	5人	30人
和歌山看護学部	—	7人	7人	10人	8人	5人	37人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
4人		367人					371人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：URL： <a href="http://www.thcu.ac.jp/database/">http://www.thcu.ac.jp/database/</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医療保健学部	280人	282人	100.7%	1,120人	1,080人	96.4%	--人	--人
東が丘・立川看護学部	200人	219人	109.5%	800人	862人	107.8%	--人	--人
千葉看護学部	100人	107人	107.0%	200人	213人	106.5%	--人	--人
和歌山看護学部	90人	100人	111.1%	180人	203人	112.8%	--人	--人
合計	670人	708人	105.7%	2,300人	2,358人	102.5%	--人	--人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医療保健学部	259人 (100%)	10人 (3.9%)	241人 (93.1%)	8人 (3.1%)
東が丘・立川看護学部	197人 (100%)	8人 (4.1%)	186人 (94.4%)	3人 (1.5%)
千葉看護学部	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)
和歌山看護学部	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)
合計	456人 (100%)	18人 (3.9%)	427人 (93.6%)	11人 (2.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先：本学大学院等 主な就職先：NTT 東日本関東病院、国立病院機構の病院、日本赤十字社等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
医療保健学部	287人 (100%)	255人 (88.9%)	12人 (4.2%)	20人 (7.0%)	人 (%)
東が丘・立川看護学部	203人 (100%)	182人 (89.7%)	14人 (6.9%)	7人 (3.4%)	人 (%)
千葉看護学部	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)
和歌山看護学部	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)	--人 (%)
合計	490人 (100%)	437人 (89.2%)	26人 (5.3%)	27人 (5.5%)	人 (%)
(備考)					

## ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業計画の作成過程と時期は次のとおりである。

1. 科目担当教員に作成を依頼する。(前年度 10 月～11 月)  
(依頼時には必要項目を記載したフォーマットと記入見本を添付している。)
2. 提出されたシラバス原稿を、当該授業を担当しない教員(医療保健学部：学科長と教務委員、和歌山看護学部：教務委員)が確認し、確認を要する箇所にコメントをつける。(前年度 12 月～1 月)
3. そのコメントを教務委員が確認後、担当教員に校正を依頼する。(前年度 1 月～2 月)
4. 校正等については、教務委員(会)を中心に教職員で最終的な確認を行い確定する。

(前年度 2 月～3 月)

授業計画の公表時期と方法については、学生には入学時に 4 年分の最新版のシラバスを冊子で配布している。また、毎年 4 月には大学ホームページにおいて最新のシラバスを一般に公表しており、PDF 形式で随時閲覧できる。

## ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

【医療保健学部】

○看護学科

以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を实践できる能力。
2. 人間と社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識と技術をもって看護を实践できる能力。
3. 看護の対象となる人々や他職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。
4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。
5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 113 単位(「いのち・人間の教育」12 単位、「医療のコラボレーション教育」18 単位、「専門職の教育」83 単位)、選択 13 単位以上、計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

○医療栄養学科

本学の建学の精神に基づき、医療に関わる知識と技術を身に付け、人々の健康をプロデュースする食と栄養管理の専門家としてのチーム医療に貢献できる管理栄養士を目指す上で、必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療栄養学)の学位を授与します。

1. 管理栄養士の行動特性を身に付け、人々の豊かな食生活と健康に寄与する基本的な能力。
2. 食に関する情報を収集し、疾病の一次、二次予防の担い手としての知識を修得し、食生活改善のための計画・実行・評価を实践できる能力。
3. 管理栄養士として必要な疾病に関する知識、技術をもって实践できる能力。
4. 管理栄養士として栄養指導の対象者等との適切なコミュニケーションをとれる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 114 単位(「いのち・人間の教育分野」14 単位、「医療のコラボレーションの教育分野」20 単位、「専門科目」80 単位)、選択 12 単位以上(専門科目から 7 単位以上)、計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

○医療情報学科

以下の能力を修得したと認められる者に学士(医療情報学)の学位を授与します。

1. 医療情報の分析とマネジメントで必要となる、医療制度や診療情報に関する基礎的な知識と手法を持って実践できる能力。
2. 医療分野のシステムや機器の開発・管理・運用に必要となる、ICT(情報通信技術)の基礎的な知識と技術を持って医療分野へ適用するための実践できる能力。
3. 医療人として他の専門職と協調して物事を進めるためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。
4. 国内外の科学技術の進歩と専門性への探究心を持ち、自ら目標を設定して、主体的に取り組む態度を身に付け実践できる能力。
5. 医療職として高い倫理観や態度を身に付け、社会の動きに関心を持ち、医療を幅広い視野で見ることが出来る能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 106 単位（「いのち・人間の教育分野」12 単位、「医療のコラボレーションの教育分野」20 単位、「専門職の教育分野」74 単位（択一選択科目 4 単位を含む。）、3 分野から選択 20 単位以上、計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

#### 【東が丘・立川看護学部】

看護・看護学を理解し、21世紀の高度医療に対応できるtomorrow's Nsを目指す上で必要とされる以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな知性と人間性に支えられて、倫理的な意思決定に基づく看護を自律的に実践できる能力。
2. 看護・看護学の基盤となるヒト・人・人間に関連した基礎科学及び看護学に関する知識・技術を修得し、科学的・相互的な思考・判断に基づいて自律的に看護を実践できる能力。
3. 看護の対象者や医療従事者等との適切なコミュニケーションを取りながら看護を実践できる能力。
4. 発展・進化する看護の知識・技術を積極的に探求し、自らも看護・看護学の発展に創造的に係わることができる能力。
5. 国際的な視野の下で、看護・看護学の専門性を発揮し地域社会、国際社会に貢献できる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 123 単位（「基礎分野」16 単位、「専門基礎分野」30 単位、「専門科目」54 単位、「統合分野」23 単位）、選択必修 6 単位以上、計 129 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

#### 【千葉看護学部】

地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。
2. 人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。
3. 看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。
4. 看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。
5. グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修 115 単位（「いのち・人間の教育」15 単位、「専門職の教育」100 単位）、選択 11 単位以上、計 126 単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

【和歌山看護学部】

以下の能力を修得したと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を实践できる能力。
2. 人間と社会に対する幅広い知識と地域社会における人々の生活と健康の観点から医療・看護に関する専門知識と技術を持って看護を实践できる能力。
3. 看護の対象となる人々や多職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力。
4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力。
5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルを持って社会の要請に応えられる能力。

卒業の認定にあたっては、卒業要件として必修113単位（「豊かな人間性を育む分野」14単位、「看護の基盤をつくる分野」33単位、「看護実践能力を高める分野66単位）、選択13単位以上、計126単位以上を修得し、卒業の認定に関する方針を満たした学生であるかを卒業判定会議において判定し、教授会において承認を得ている。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医療保健学部	看護学科	126 単位	有	44 単位
	医療栄養学科	126 単位	有	45 単位
	医療情報学科	126 単位	有	44 単位
東が丘・立川看護学部	看護学科	129 単位	有	45 単位
千葉看護学部	看護学科	126 単位	有	44 単位
和歌山看護学部	看護学科	126 単位	有	44 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：一部学科によっては、履修案内に活用方法を記載		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/about/eduinfo/>

⑧ 授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
医療保健学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	603,950 円	施設設備整備費、維持費・諸費
	医療栄養学科	800,000 円	300,000 円	516,860 円	施設設備整備費、維持費・諸費
	医療情報学科	700,000 円	300,000 円	503,460 円	施設設備整備費、維持費・諸費
東が丘・立川看護学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	605,000 円	施設設備整備費、維持費・諸費
千葉看護学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	604,900 円	施設設備整備費、維持費・諸費
和歌山看護学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	602,000 円	施設設備整備費、維持費・諸費

### ⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ガイダンス機能の充実を図りながら、学生が修学する上で必要とする情報の提供を行っています。体調不良等により欠席が多く見られる学生等については、各学科、各年次の担任教員、アドバイザー教員、学生支援センター、保健室、教務部職員等関係部署において緊密に連携し、学生との面談等による適切な修学支援に取り組んでいます。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 各学部学科特性に応じ、各学科教員及び国家資格キャリアコンサルタント等の有資格者(厚生労働省の指定するキャリアコンサルタント能力評価試験の合格者)を配置した学生支援センターを中心に事務局と教員が一体となり個別面談をはじめ進路に関するガイダンスや先輩の就職活動体験を聞く会、各種就職支援講座等の進路選択や就職活動への支援を行っています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 各キャンパスに保健室を設置し専任の看護師各 1 名を配置しており、定期健康診断等による健康指導や日常の学生の身体の不調だけではなく、精神的な不安や悩み等の相談を受けています。学生のメンタルケアに関しては学生支援センターの学生相談室にカウンセラーを配置し適切に対処しています。

### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：URL：<http://www.thcu.ac.jp/research/bulletin.html>